

成人学級 5回目 館外学習

月 日	令和7年2月12日（水）
時 間	9：00～16：00
会 場	相模原市立公文書館、麻布大学いのちの博物館
主 管	相模台公民館成人学級運営委員会

公文書館と麻布大学で学習をしました。公文書館では第26回公文書館企画展「郡役所令達書類の世界—相原村文書を中心に」の解説をしていただきました。実際の公文書を見ると、当時の行政機関や村の様子が分かりました。麻布大学のいのちの博物館では、哺乳類の本物の骨をみて比較し、実際に触ってみたり、麻布大学の豊富な研究内容を知ることができました。



公文書館の説明がありました。神奈川県には現在5団体（県・相模原・川崎・藤沢・寒川）があるだけです。



企画展「郡役所令達書類の世界」の説明。



明治時代から大正にかけて、政府からのお達し文書の数々が主に展示されています。虫食いの手書きの公文書や印刷された公文書もありました。



さがみはらデジタルアーカイブスの紹介をしていただきました。貴重な市の資料・資源である写真などを自由に閲覧できます。公文書館の歴史的公文書の保存をしています。



学食 カフェさくらで昼食。
学生さんと会話を楽しんでいる学級生も
います。



イヌの祖先ニホンオオカミと現在の犬の
骨格の違いについて教えていただきました。
展示されている骨は、人間以外は全部
本物です。



本物の骨をもってみたり、違いを観察し
ました。博物館の骨は主に学生さんが病
気で死んだ動物などを処理したもの。



ゾウやキリン、サルなどの骨と人間の骨
の違いは？知っているようで、知らない
ことばかりでした。

